

価値ある

行動目指す

○：「若いロータリーな
ので、行動力、団結力を活
かして自分たちのカラーを
出していきたくすね。創
立からのメンバー。会社を
経営していた父親をしくし、
ガムシヤラに働いていた時
に先輩から誘われた。「誰で
も声がかかるものではない
ので、うれしかったですね。
外に目を向けるいい機会に
なりました」と笑う。

○：エクアドル共和国や
フランスなどの7か国と日
本の高校生を約1年間、互
いに留学させあう「国際青
少年交換プログラム」に力
を注いでいる。留学を経験
した後の成長を見るのが楽
しみだという。「おとなしか
った生徒が、積極的になり、
自分を表現することができ
るようになるのは驚きです
よ」。

○：不動産管理会社を経
営する。「ロータリーに人会
していなかったら、異業種
の方々の考え方を学ぶこと
ができなかった。仕事にも
プラスに働いています」。メ
ンバーたちのエネルギーが
力になっているという。「今
のメンバーに巡り会えて本
当に良かった。経験やノウ
ハウを有意義に使って、価
値ある行動をしていきたい
ですね」。



横浜日吉ロータリークラブ14代会長

加藤 一男さん
豊一管財(株) 53歳

地元奉仕団体

新会長の横顔①

・ロータリークラブとは社会奉仕と国際間の親善を目的として世界各地に作られている社交団体

損得抜きの関係で

自身の成長を

○：来年でクラブ設立50周年を迎える。その準備期間となる年を、会長としてまずは基本に帰り、着実に活動を進めていく方針だ。「日常生活の一部として、淡々と社会奉仕をやっていきたい」。これまでロータリーが大きく貢献してきた骨髄性小児麻痺(ポリオ)撲滅の寄付は引き続き行きたい、地域社会へロータリー

○：クラブに入会して約15年。これまでで一番心に残っているのは、貧困問題を抱えるアフリカ・ニジェール共和国で、地域住民の医療に従事する医師・谷垣雄三氏を支援する活動だ。「募金にもぜひご協力いただきたいです」と呼びかけ

○：「商売もロータリーも、一生懸命にやっていたい。それでこそ社会奉仕ができると思う」。決してどちらもおろそかにしない信念を滲ませる。堅実な姿勢で活動を進め、来年50周年を迎える準備を進めてい



横浜港北ロータリークラブ49代会長

工藤 泰幸さん
東陽電業社 62歳

る。今後この活動は台湾の姉妹クラブと合同で続けていく。

○：様々な業種の経営者が集まるクラブメンバーと話ができて、任意団体という損得抜きの関係が築けるといふ点に、時間を割いてでも参加する意義があるという。「普段とは違った人間関係を作ることができるのは魅力的。実際に活動に関わり出して、妻にも人間の幅が広がったと言われた」。ロータリーを通して、人間としても成長をすることができた。